

瑞穂

◇第40回瑞穂地区球技大会

6月13日(日)にソフトボールとソフトバレーボールで熱戦が繰り広げられました。結果は次のとおりです。

- ソフトボールの部
(会場：東小グラウンド、瑞穂グラウンド)
優勝 中組ヤンキース
準優勝 富田A
第3位 中組イーグルス、関沢A
※中組ヤンキースは2連覇達成です！
- ソフトバレーボールの部
(会場：東小体育館)
優勝 関沢A
準優勝 柏尾A
第3位 中組緑のためぎ、福島
※関沢Aは5連覇達成です！

◇瑞穂地区運動会

8月29日(日)瑞穂グラウンドにて開催します。大勢の皆さんのご参加をお願いします。

柳原

◇柳原ホタル観察会

柳原農地水環境保全委員会育成会と共催で、6月26日(土)に開催しました。

ホタルの生態やホタルの生息環境の保全について話をしながら、皿川周辺で観察しました。無数のホタルが乱舞する様子に、大人も子供も時間を忘れて感動のひとときを過ごしました。

◇地区球技大会7/4開催

雨天のためソフトボールを中止し、ソフトバレーボールを男女別で開催しました。

初めての男子ソフトバレー開催となり、練習もしていないなか、男子も白熱した試合になりました。また、女子の部では、久しぶりに参加した小佐原が見ごと優勝を飾りました。選手・役員、応援に駆けつけた皆さんお疲れさまでした。

- ソフトバレーボール 男子の部
優勝 山口チーム
準優勝 南条チーム
第3位 大川チーム・四ツ屋チーム
- ソフトバレーボール 女子の部
優勝 小佐原チーム
準優勝 藤ノ木チーム
第3位 南条チーム・笹川チーム



◇富倉峠まつり

7月25日(日)午前9時に上新田公民館集合。
その昔、飯山と越後をむすんだ塩の道『富倉峠道』の歴史と文化を学びながら一緒に歩いてみませんか。峠ではトン汁・飲み物をサービス。参加は無料。

富倉

◇富倉地区ゲートボール大会

6月13日(日)恒例のゲートボール大会が開催されました。年々世帯数が減少する中、全集合参加の部落下参加の部落下対抗戦が組めなくなり、今年は滝ノ脇と濁池の混成チームの参加とし、全4チームでの大会となりました。

当日は天候にも恵まれ、そばを食べに来たお客さんの観戦もあり、いい汗を流すことができました。

大会成績

- 優勝 中谷上
- 準優勝 中谷下
- 第3位 滝ノ脇・濁池

外様

◇第15回外様公民館長杯マレットゴルフ大会

6月13日(日)長峰スポーツ公園マレットゴルフ場にて開催しました。和気あいあいとプレー



常盤

◇第21回常盤地区マレットゴルフ大会(6月20日午前実施6チーム参加)

上野の小出安子さんの選手宣誓後、競技を開始しました。



今回、初めて湯の入荘ゲートボール場をお借りして実施しました。

- 優勝 柳新田チーム
- 準優勝 戸隠チーム
- 第3位 大倉崎チーム



◇第30回常盤地区クラブサークル発表会

今回は第30回記念として常盤小学校体育館をお借りし7月4日開催、日頃の活動成果を披露しました。

計23組の参加による5時間の発表会、城北中学校吹奏楽部、常盤・戸狩小学校児童の演奏もあり、とても盛会でした。



◇常盤地区大運動会

8月29日(日)午前8時30分から常盤小学校グラウンドにて開催します。大勢の皆さんのご参加をお願いします。

太田

◇太田地区球技大会開催

6月20日(日)梅雨の晴間、戸狩小学校のグラウンドでソフト

岡山

◇岡山地区ゲートボール大会・マレットゴルフ大会

6月13日(日)桑名川、なかよし公園でゲートボール大会とマレットゴルフ大会を午前と午後に分け開催しました。

ゲートボール大会は年々参加チームが増える大盛況振りで今年は12チームが熱戦を繰り広げました。午後からはマレットゴルフ大会が行われ今年は小学生もハンディキャップをもらって参加し、白熱した大会になり、腕前



- ソフトバレー
優勝 小境B
準優勝 小境A
第3位 柳沢



- ソフトバレー
優勝 大深A
準優勝 小境A
第3位 藤野・五荷



- ソフトボール競技の部
優勝 大深A
準優勝 小境A
第3位 藤野・五荷

ボール競技と体育館でソフトバレー競技が、緑の村ゲートボール場でゲートボール競技が行われました。結果は、次のとおりです。

- の差はあれど楽しむことには差のない楽しい一日でした。
- ゲートボール大会結果
- 優勝 上境B
- 準優勝 桑名川A
- 第3位 桑名川B
- マレットゴルフ大会結果
- 1位 小田切修一(桑名川)
- 2位 藤巻みち子(桑名川)
- 3位 斉藤康之(藤沢)



箱人学習シリーズ

「つながり」

秋津小学校長 小林 一洋

近頃新聞でも教育関係の文書でも「関わり」「関係作り」という言葉が頻繁に出てくるようになりました。個性を伸ばし、個に応じた指導「ひとりひとり」という言葉と共にこの「関わる」言葉が多くみられるようになってきたのは人間関係が希薄になってきていることの表れでしょう。ま

をしながらも、皆打つ時は真剣な表情でプレイしていました。

- 男性の部
- 優勝 足立清志さん(顔戸)
- 準優勝 清水紀一さん(法寺)
- 第3位 服部一さん(法寺)
- 女性の部
- 優勝 足立とみのさん(顔戸)
- 準優勝 栗岩輝子さん(顔戸)
- 第3位 野上京枝さん(顔戸)

◇かえるの学校



6月20日(日)に、飯山市民公民館(ウィークエンド教室)と共催で開催しました。



まれましたが、心配していた雨も降らず、熊の巣池にのんびり浮ぶカエル等、近年になく多くのカエルに会えました。

◇広井川まつり

日時 8月14日(土)午前9時〜12時
場所 尾崎城址周辺
外様地区子ども育成会と共催
イワナのつかみ取りとミニ国際交流デイキャンプ(参加各国の料理と国際交流)

た、ひとり一人を大切にするためには、人間関係を育てていかなければならないということでしょうか。少子化で子供がどんどん少なくなって学校の統合が行われている今、兄弟や、近くの同年代の子との自然な人間関係が少なくなっています。トラブル、けんか、ぶつかり合いなどの体験がほとんどないまま保育園、小学校、中学校と成長しています。

あたかも今の子供に原因があるかのような意見も耳にしますが、原因は我々大人にあることは明確です。大人が人間が生きていく上で芯になる経験を不足させているわけです。

学校ってすごい
朝、具合が悪くて
学校に行ってみると
具合がもつと悪くなる
でも、びつくり
休み時間になると
みんなが いつしよに
遊ぼうというて
遊んでみると
いつの間にか
ピンピン元気になった
具合が悪かったのにすごい
学校って薬みたい

秋津小学校の学校詩集にあった二年前の詩ですが、友だちと遊べるうれしい、素直な心がよく表現されています。この子は学校という建物で元気になったわけではありません。おそらく授業で元気になったわけでもないでしょう。(教師としては残念ですが)みんながいつしよに遊ぼうと誘ってくれたことで朝からの具合の悪さがなくなったのです。友だちが自分を認めてくれている、暖かい雰囲気の中で自分の心が安心して生活できる、だから元気になったのです。

現在はこのような、「心と心の関わり」をもつともつと意識的に育てていかなければならない時代になってしまいました。社会性を身につけていく経験は対人関係の中でしか育ちません。身近な家族、クラスの友だち、地域に生活する大人(特に年配の皆さん)、教師、この子供たちを取り巻く大人が体験を通して「関わりの心」を育てていくことが大切なことだと思うのです。人権感覚を育てるということは、何も難しいことをするのはなく、子供たちが人間関係作り「つながり」の根を張っていく手伝いをするようなかもしれません。